

東大阪みらい工科高等学校



この校章のデザインは、非常に象徴的で深い意味を持っています。七芒星（しちぼうせい）は、4つの系と7つの専科を表しており、「みらい」という校名と次世代への希望を象徴しています。また、生徒たちが未来を切り拓く力を育むことを願いに込めています。中央の「工」の文字は、伝統と先端技術の融合を象徴しており、このデザイン全体で、歴史の重みと革新の精神が表現されています。

この校章は、京都美術工芸大学の学生の皆様によってデザインしていただいたものです。

城東工科高校 歴代の校章

創立S4.4.1～S5.3.31



柏葉2枚に『工』の字を配した

S5.4.1～S26.3.31



大阪城の築城者、豊太閤の馬標『千成瓢箪』をかたどったもので、これを八個旭光状に配列し、工業のシンボルとして歯車を加え、中央に『工』の字を配したものである。

S26.4.1～H20.3.31



大阪城の築城者、豊太閤の馬標『千瓢』をかたどったもので、これを八個旭光状に配列し、工業のシンボルとして歯車を加え、中央に『工高』の字を配したものである。

H20.4.1～現在

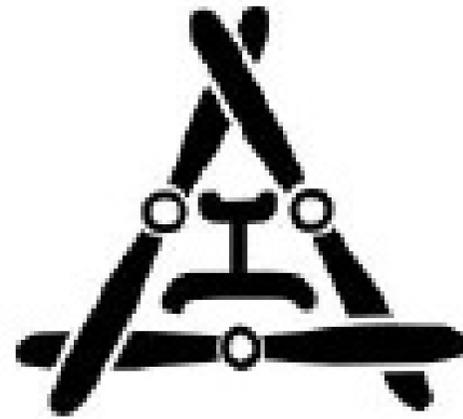


城東工業高校の愛称『城工』を伝統と共に継承する願いを込めて基本のデザインはそのまま、中心部に『城工』の字を配したものである。

布施工科高校

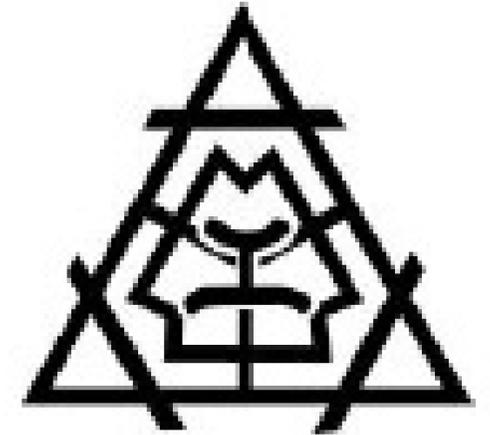
歴代の校章

創立S14.2.13～S20.3.31



大阪府立第七職工学校・航空工業学校
プロペラと工が航空工業をイメージし、それぞれが航空機体科・航空機関科・精密機械科を象徴しています

S20.4.1～S23.3.31



大阪府立布施工業学校
三角形の先がそれぞれ機械科・電気科・建築科を象徴し、三角形が簡潔・安定・不動を意味しています

S23.4.1～現在

大阪府立布施工業高等学校・布施工科高等学校
3つの矢は機械・電気・建築（建築設備）の三科（三系）を象徴し、矢先は知育・徳育・体育を表しています。外側の三角形は簡潔で安定したものを表しています。

